

検討に当たっての基本的な考え方 【活性化】(案)

令和7年2月4日
兵庫県まちづくり部公園緑地課

【参考】 県立都市公園における活性化に関する基本的な考え方



○課題に応じて対応を実施

【課題】

課題①

- 公園利用者等*が公園運営に新規参入する場合のハードルが高い。

課題②

- ボランティアの活動状況や募集などの情報発信が不十分。
- 間伐や景観確保のための樹木伐採など公園の管理に関する理解が十分でない。

課題③

- 「新たなパークマネジメント手法(民間活力導入)」の導入目的と制度に関する説明・周知が不十分。

課題④

- 老朽化等で施設を廃止、又は全面更新する場合や、施設を新設する場合において利用者からの意見聴取や反映手法が不明確。

課題⑤

- 公園管理に関する重要な要素である情報共有マネジメントが不十分。

【課題への対応(検討事項)】

対応①

- 管理運営協議会等を設置・拡充**
(公園の管理運営に係る利用者参画機会を拡充)

対応②

- 公園のさらなる利用を促す取組を検討**
- 公園管理に公園利用者等が参画するための仕組みを検討**

対応③

- 「新たなパークマネジメント手法(民間活力導入)」の導入に関する県民への**情報発信や意見聴取のルールを作成**
(制度に関する説明や公募内容に関する意見聴取を実施)

対応④

- 施設の新設や改廃等の合意形成のルールを作成**
(施設の改修や新設、廃止など利活用の方針に応じた情報発信や意見聴取を実施)

対応⑤

- 意見収集と情報伝達の両面から整理し、対策を検討**

*「公園利用者等」...公園利用者、NPO、行政、Park-PFI事業者等を含む幅広い関係者



【検討事項①】管理運営協議会等の拡充

- ・公園の管理運営について、公園利用者の参画機会をさらに拡充するための取組について検討する。
- ・公園利用者等からの提案ヒヤリングや公園管理へのさらなる参画を促す仕組みを設定する。

【管理運営協議会の目指すべき姿】

- 「要望の場」ではなく「連携のアイデアを提案し、活動につなげる場」
- 既存の活動のアウトプットだけでなく、新しい視点を取り入れるインプットの場
- 各人のもつそれぞれの公園の価値（固有の価値だけでなく、新しい価値、失われていく価値）を認識し、共有した上で、公園の管理運営を考える場

| 今後の取組（案） | 具体例 |
|----------------------|---|
| メンバー構成の検討 | ○幅広い参画を実現するため、地域で活動する市民団体等へ管理運営協議会への参加の呼びかけを実施 |
| 誰もが意見を出せる仕組みづくり | <ul style="list-style-type: none"> ○会議における議論をマネジメントする基本ルールの設定 ○子育て世代が参加しやすい日時やオンラインによる会議の開催 ○公園利用者等からの提案型企画等を促す取組の強化（相談窓口の明示や利用者が提案しやすい仕組みの創設） ○公園利用者と公園についての意見交換等を行う場の検討 |
| 公園に係る活動への参画を促す仕組みづくり | ○多様な主体による園内活動の見える化（SNS等を使った積極的な情報発信や活動の記録手段としてのHPの活用 等） |



【検討事項②】公園のさらなる利用・参画を促す取組の検討

- ・公園の持つ役割や特性を考慮し、公園のさらなる利用を促す取組・仕組みを検討する。
- ・公園の実情に応じて公園管理に公園利用者等が企画・行動する仕組みを検討する。

<取組・仕組みの例>

- 公園ボランティア活動の見える化SNS等を使った積極的な情報配信や、活動の記録手段としてのHPの活用 等)
- 伐採作業や伐採木を活用した工作などのワークショップの実施
- 公園内で実施可能なイベント等の相談ができる窓口の明示
- 市民が公園を使いこなすための伴走支援を行うパークコーディネーターの配置

※(参考)各公園における取組の実例

- 誰もが自由に参加し、意見を述べられる場「明石公園みんなの未来ミーティング」の創設（明石公園）
- 新たなイベントを呼び込み、既存事業との相乗効果を発揮するための意見交換会などの仕組みについて検討（播磨中央公園）
- 公園利用者等へのヒアリングや学校等に訪問して公園に対する要望を聞き取る等の取組について検討（赤穂海浜公園）
- 公園利用者、管理者双方が公園の情報をリアルタイムで共有することのできるアプリPARKFULの積極的な活用



【参考】丹波並木道中央公園の取り組み事例・地域における位置づけ、役割

■ 丹波並木道中央公園における取組事例

- ・なみきみち恐竜化石パーク（「丹波地域恐竜化石フィールドミュージアムコア施設」ならでの独自の取り組みを実施）
- ・なみきみちまつり（周辺のまちづくり協議会と協力し、秋の収穫時期に大規模な食イベントを実施）
- ・兵庫丹波チャレンジ200関連事業（県が行うスポーツサイクル人口の増加に向けた施策への協力）
- ・森の工房（間伐材の端材等を素材に来園者が自由に工作や作品作りができる「自由工作教室」を設置）
- ・ギャラリーかやぶき民家（かやぶき民家を会場とした木工教室の展示・販売会を実施）

■ 考慮すべき主な公園の役割、機能

○丹波の森創造プランにおける活動拠点

⇒丹波地域全体を「丹波の森」と位置づけ、豊かな自然や文化を大切にした地域づくりを進めており、この取り組みをまとめた「丹波の森創造プラン」において、活動拠点の一つとして明記されている。

○兵庫丹波チャレンジ200の拠点

⇒丹波地域におけるサイクルツーリズム推進のため設定された、全長200kmのサイクリングモデルコース「兵庫丹波チャレンジ200」の拠点施設として公園内にサイクルステーションが整備された。

○丹波地域恐竜化石フィールドミュージアムのコア施設（太古の生き物館）

⇒貴重な化石が見られる地層が身近に存在する希少な地域のため、地域全体を野外博物館と位置づけており、丹波並木道中央公園の「太古の生き物館」と丹波市の「丹波竜化石工房ちーたんの館」がこのコア施設と位置付けられている。



【検討事項③】「新たなパークマネジメント手法(民間活力導入)」※を導入する際のルール設定

- ・導入に向けた各段階における、県民への情報発信や意見聴取等の手続きを設定する **（県が中心となって協議）**

※長期指定管理、Park-PFI等の、民間事業者の優れたノウハウと資金を呼び込む新たな公園管理の手法

○県の基本方針

- 県の責任と負担による県立都市公園の整備や維持管理を基本とし、公園のさらなる魅力向上を図るための手段として、各公園の持つ特性を活かした整備や維持管理を、民間事業者の優れたノウハウや投資を呼び込んで実現する。
- 利用者ニーズや公園の課題等をもとに、管理運営協議会等での議論を経て、導入に向けた事業可能性調査を始める。

<事業者公募までの具体的な進め方(案)>

導入に向けた各段階において、県民への情報発信や意見聴取のルールを設定する。

| 区分 | 具体的手法 |
|---------|----------------------------------|
| 広く情報発信 | ○記者発表、園内のポスター掲示、チラシ配布、HPへの掲載 |
| 協議会等へ説明 | ○森の円卓会議には情報発信後に説明を行い、必要に応じて意見を伺う |
| 意見聴取 | ○公園利用者等からの意見聴取 |

<各段階における手続きの設定>

| | 事業可能性調査 | 調査結果公表 | 公募方針検討 | 公募開始 | 事業者決定 |
|---------|---------|--------|--------|------|-------|
| 広く情報発信 | ● | ● | ● | ● | ● |
| 協議会等へ説明 | ● | ● | ● | | ● |
| 意見聴取 | | ● | ● | | |

ゾーニング図Aの変更(ゾーン変更)を伴う場合には、協議の場で合意形成を図る



【検討事項④】公園施設の新設、改廃に関する合意形成・情報発信のルール設定

- ・公園施設の新設や改廃等に関する合意形成・情報発信のルールを設定する（**県が中心となって協議**）。
- ・公園利用者等からの意見については、可能な限り、施設の利活用の方針に反映する。
- ・管理運営協議会において施設改修等の方針が既に合意されている場合は、改めての説明や意見聴取は不要とする。

<合意形成・情報発信のルール設定>

| 必要な手続き | 区分 | |
|--|---------------|----------------------|
| | 施設※1の更新 | 施設※1の新設、 廃止、用途の変更 |
| 管理運営協議会等への説明・相談 | ○ | ○※2 |
| SNS、HP、現地看板等を通じた情報発信 | ○ (1ヶ月前から) | ○ (3ヶ月前から) |
| 公園利用者等への意見聴取 (利用者アンケート、関係団体へのヒアリング、 HP等を通じた意見聴取など) | — | ○ |

※1 上下水道、電気通信などのインフラを除く。

※2 ゾーニング図Aの変更(ゾーン変更)を伴う場合には、管理運営協議会等において合意形成を図る。



【検討事項⑤】情報共有マネジメントの検討

・公園に関する情報について、公園利用者等とどのように共有するのか、**意見収集**と**情報伝達**の両面から整理したうえで、各公園の特性に応じた効果的な対策を検討する。

■意見収集

- 利用者の多様な声を平常時から集める方法について検討
- 障がいのある方、子育て世帯等、声を届けにくい利用者の声を集める方法について検討

＜具体的な対策(例)＞

- 公園利用者等への定期的なヒアリングの場の設置
- 管理運営協議会として、学校等を訪問し、公園に対する要望等を聞き取る
- **公園以外の場所（子育て支援施設、観光施設 等）で公園についてのアンケートを取る 等**

■情報伝達

- 効果的な情報伝達の方法について検討し、日常的な公園の管理運営に生かす。

＜丹波並木道中央公園における主な情報伝達方法＞

| 区分 | | 具体例 | 実績等 |
|-------------------|------|----------------------------|---|
| プッシュ型 (能動的) | アナログ | 新聞記事・広報誌 | 市広報誌等にイベント情報や公園HPリンク先等を掲載 |
| | デジタル | Instagram、Facebook、YouTube | Facebook (フォロワー数613人) ※ Instagram(フォロワー数1,267人) ※ X (フォロワー数939人) YouTube (登録者3人) ※ |
| プル型 (受動的) | アナログ | 窓口 | 随時対応 |
| | デジタル | HPへのアクセス | イベント情報を適宜掲載 |
| プッシュ・プル双方の特性を持つ媒体 | | PARKFUL (公園アプリ) | 投稿1件、ビュー439※ |

※R7.1月末時点